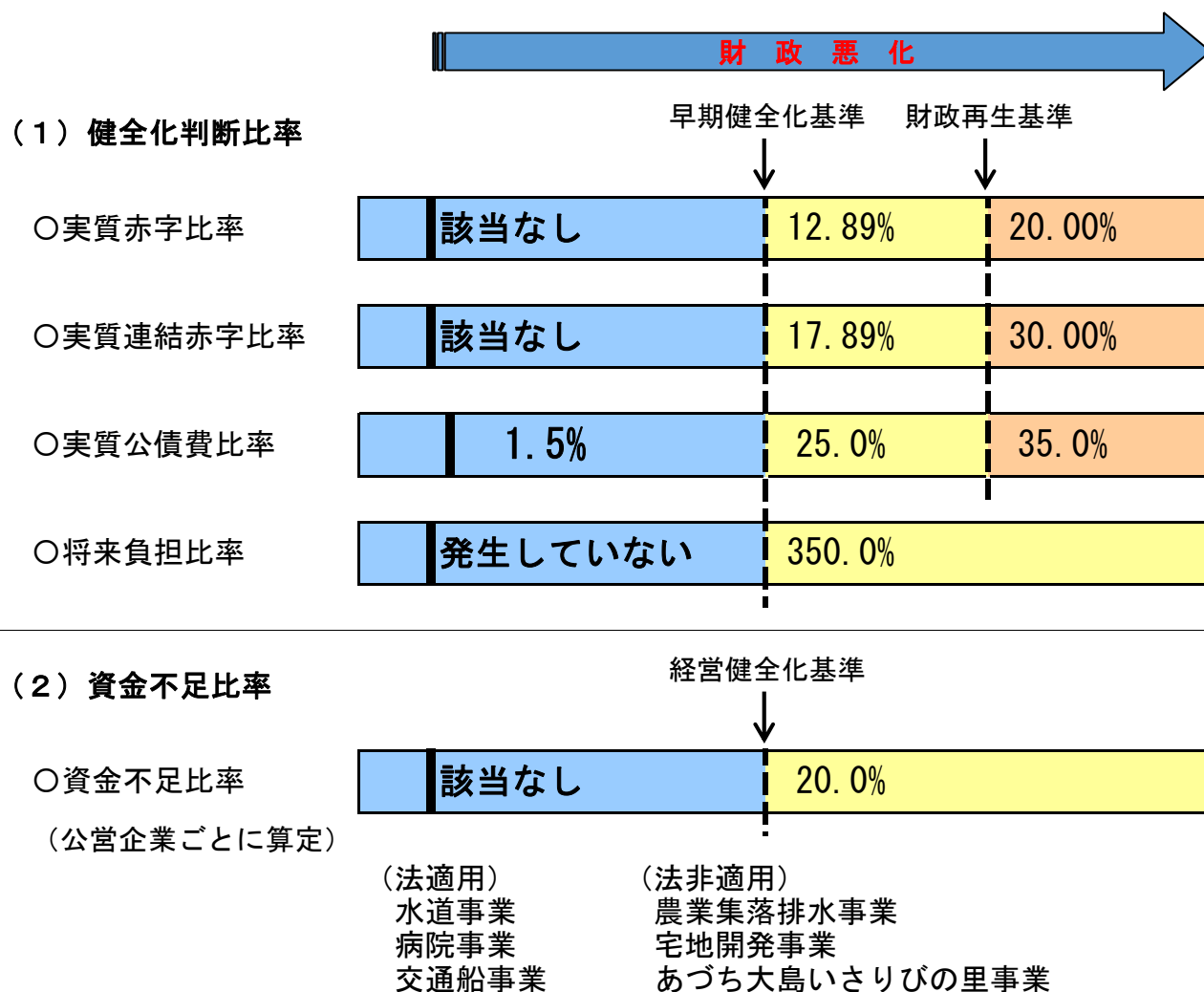


令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の公表について

1 平戸市の健全化判断比率等の状況



2 各指標からみる平戸市の財政状況について

- 健全化判断比率のうち、一般会計での実質赤字比率、特別会計及び公営企業会計を含めた連結実質赤字比率については、令和2年度と同様に黒字となっていることから該当していません。
実質公債費比率は1.5%で、令和2年度の3.0%と比べ1.5ポイント改善しています。
将来負担比率は、令和2年度と同様に発生しておらず、いずれの指標も一定の良好な状況を保っています。
- 実質公債費比率が改善している主な要因は、財政健全化計画に基づく市債の繰上償還、及び北松北部環境組合の地方債について、平成29同意債の元金償還が始まったものの、令和元年度に平成15・16許可債が償還終了したことによる負担金減によるものです。
また、将来負担比率は、繰上償還など市債発行抑制に伴う市債残高の減少による将来負担額の減少と、充当可能財源である財政調整基金などの基金残高が確保されていることが発生していない主な要因となっています。
- 今後も、これらの指標を注視しながら健全な財政運営に努めてまいります。

○健全化判断比率（地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項関係）

（単位：％）

比率名	R03	R02	R01	H30	H29	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	12.89	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	17.89	30.00
実質公債費比率	1.5	3.0	4.7	5.7	6.3	25.0	35.0
将来負担比率	—	—	—	—	—	350.0	

※ 実質赤字額、連結実質赤字額が又は将来負担額がない場合は、「—」と表示される。

○資金不足比率（地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項関係）

（単位：％）

特別会計名	R03	R02	R01	H30	H29	経営健全化基準	備考
水道事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
交通船事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
病院事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
農業集落排水事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
あづち大島いさりびの里事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
宅地開発事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第4号の規定により事業の規模を算定
工業団地事業特別会計		—	—	—	—	20.0	令第17条第4号の規定により事業の規模を算定
電気事業特別会計				—	—	20.0	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定

※ 資金不足額がない場合は、「—」と表示される。

■実質赤字比率と連結実質赤字比率、資金不足比率

(単位：千円)

会計区分	会計名	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		
		実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率	実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率	実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率	実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率	実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率	
一般会計等 ①	一般会計	633,988	/	131,369	/	296,387	/	281,918	/	392,394	/	
公営事業	法適②	水道事業会計	1,323,367	—	1,107,970	—	1,073,885	—	1,073,115	—	1,049,989	—
		交通船事業会計	227,630	—	206,634	—	176,043	—	167,357	—	124,630	—
		病院事業会計	1,224,878	—	950,578	—	747,384	—	735,858	—	747,675	—
	法非適③	農業集落排水事業特別会計	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
		あづち大島いさりびの里事業特別会計	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
		宅地開発事業特別会計	50,937	—	59,571	—	64,093	—	71,720	—	87,408	—
		工業団地事業特別会計	/	/	0	—	0	—	0	—	0	—
電気事業特別会計	/	/	/	/	/	/	0	—	0	—		
①②③ 以外の会計 (特別会計)	国民健康保険特別会計	23,978	/	22,127	/	95,755	/	5,686	/	5,837	/	
	後期高齢者医療特別会計	850	/	67	/	797	/	1,422	/	1,709	/	
	介護保険特別会計	36,548	/	109,755	/	148,227	/	168,029	/	55,626	/	
	駐車場事業特別会計	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	
合計		3,522,176	/	2,588,071	/	2,602,571	/	2,505,105	/	2,465,268	/	

実質赤字比率(%)	—	△4.66	—	△1.00	—	△2.27	—	△2.11	—	△2.91
連結実質赤字比率(%)	—	△25.92	—	△19.75	—	△20.01	—	△18.82	—	△18.30

■実質公債費比率

(単位：千円)

項目		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	R03—H30	影響 (pt)
地方債の元利償還金（繰上償還を除く）	A	2,821,777	2,826,636	3,009,374	3,144,459	3,102,804	△322,682	△1.0
地方債の元利償還金に準ずるもの	B	343,012	307,719	407,630	627,518	734,049	△284,506	△0.9
公営企業地方債償還のための繰入金		321,914	305,773	351,048	321,371	323,408	543	0.0
一部事務組合地方債償還のための負担金		20,063	683	55,192	304,520	408,436	△284,457	△0.9
公債費に準ずる債務負担行為		1,035	1,222	1,355	1,441	1,608	△406	0.0
一時借入金利子		0	41	35	186	597	△186	0.0
控除財源等		3,066,663	3,065,499	3,119,530	3,213,069	3,252,405	△146,406	0.4
元利償還金に充当する特定財源	C	78,234	87,393	92,028	94,236	104,807	△16,002	0.0
元利償還金に要する経費として普通 交付税の基準財政需要額に算入された額	D	2,988,429	2,978,106	3,027,502	3,118,833	3,147,598	△130,404	0.4
標準財政規模		13,584,048	13,102,154	13,001,916	13,308,065	13,467,401	275,983	0.0
標準税収入額等	E	3,527,719	3,651,398	3,516,945	3,519,609	3,489,348	8,110	0.0
普通交付税	E	9,584,716	9,087,056	9,097,660	9,259,166	9,424,526	325,550	0.0
臨時財政対策債発行可能額	F	471,613	363,700	387,311	529,290	553,527	△57,677	0.0

実質公債費比率（単年度）

0.92610	0.68012	2.98237	5.48528	5.66336	△4.55918
1.5	3.0	4.7	5.7	6.3	△4.2

実質公債費比率（3カ年平均）

【実質公債費比率】＝

$$\frac{\{(A+B) - (C+D)\}}{(E+F-D)} \times 100 \times 100$$

■将来負担比率

(単位：千円)

将来負担額	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	R3-R2	影響 (pt)
地方債残高	26,722,624	26,851,738	26,020,994	26,733,945	28,016,477	△129,114	△1.2
債務負担行為に基づく支出予定額	0	0	0	0	0	0	0.0
土地改良区等への補助金	0	0	0	0	0	0	0.0
公営企業債等繰入見込額	2,793,010	2,863,931	3,048,921	3,162,331	3,445,402	△70,921	△0.7
水道事業会計	2,162,311	2,214,105	2,280,294	2,316,686	2,598,517	△51,794	△0.5
交通船事業会計	52,050	0	0	0	3,033	52,050	0.5
病院事業会計	501,389	579,070	625,904	678,980	763,194	△77,681	△0.7
農業集落排水事業特別会計	49,698	55,919	62,025	68,018	73,901	△6,221	△0.1
工業団地事業特別会計	0	0	73,355	92,230		0	0.0
国民健康保険特別会計	27,562	14,837	7,343	6,417	6,757	12,725	0.1
組合等負担等見込額（北松北部環境組合）	750,716	770,105	770,105	816,202	589,447	△19,389	△0.2
退職手当負担見込額	3,064,656	3,078,946	3,183,731	3,273,214	3,480,826	△14,290	△0.1
設立法人の負債額等負担見込額	11,595	12,265	13,170	14,402	15,681	△670	0.0
長崎県林業公社	11,595	12,265	13,170	14,402	15,681	△670	0.0
合計 (A)	33,342,601	33,576,985	33,036,921	34,000,094	35,547,833	△234,384	△2.2

充当可能財源等	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	R3-R2	
充当可能基金	14,090,984	12,844,083	12,555,020	13,141,213	13,573,512	1,246,901	△11.7
充当可能特定歳入	964,389	1,024,658	702,929	705,823	731,226	△60,269	0.6
国庫支出金等	29,042	33,184	37,283	41,354	45,380	△4,142	0.1
企業会計等貸付金元利収入	300,000	300,000	0	0	21,140	0	0.0
公営住宅使用料	514,438	557,137	535,312	541,638	565,509	△42,699	0.4
都市計画税	120,909	134,337	130,334	122,831	99,197	△13,428	0.1
基準財政需要額算入見込額	22,180,646	23,806,257	23,497,155	24,368,188	25,025,403	△1,625,611	15.3
合計 (B)	37,236,019	37,674,998	36,755,104	38,215,224	39,330,141	△438,979	4.2

標準財政規模 (C)	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	R3-R2	
標準税収入額等	3,527,719	3,651,398	3,516,945	3,519,609	3,489,348	△123,679	△0.5
普通交付税	9,584,716	9,087,056	9,097,660	9,259,166	9,424,526	497,660	1.8
臨時財政対策債発行可能額	471,613	363,700	387,311	529,290	553,527	107,913	0.4
算入公債費等の額 (D)	2,988,429	2,978,106	3,027,502	3,118,833	3,147,598	10,323	0.0

(A) - (B) ① △3,893,418 △4,098,013 △3,718,183 △4,215,130 △3,782,308 204,595

(C) - (D) ② 10,595,619 10,124,048 9,974,414 10,189,232 10,319,803 471,571

将来負担比率 ①/②*100	-	-	-	-	-	43.3	
	△36.7	△40.4	△37.2	△41.3	△36.6	0.5	